

令和5年 年間授業計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

教科名		技術・家庭 家庭			対象学年	2年	週時数	1					
使用教科書		「開隆堂」技術・家庭 家庭分野			教科担当	技術・家庭 家庭科 宮武 紀加							
副教材		「東京書籍」学習ノート											
授 業 計 画													
目標	授業の年間	* 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と家庭とのかかわりあいについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。											
主な学習内容	1 学期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	ガイダンス	・家庭科について ・安全について 1時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	学習の到達目標	評価のための判断材料 ノート、プリント 授業観察 定期考査・実技テスト 作品				
			C 衣生活・住生活と自立	・日常着の活用 4時間 ・日常着の手入れ 4時間 ・布を用いたものの製作 7時間	○	○	○	・一年間に学習する内容理解できる ・目的に合った衣服を選び、自分らしい着方を工夫することができる。 ・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・目的に合った服装について考える。 ・洋服と和服の構成のちがいや和服の着方を知る。 ・衣服の正しい表示の見方や選択のしかたがわかる。 ・衣服の状態に合わせた、手入れの必要性がわかる。 ・衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 ・衣服の素材に適した手入れが分かる。 ・取り扱い表示の意味を理解して、適切な手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使うことができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするものを考える。					
		9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	・住まいのはたらき 3時間 ・健康で安全な住まい 6時間	○	○	○	・住まいの基本的なはたらきを理解し、住まいに必要な空間とその役割がわかる。 ・家族によって住まい方がちがうことがわかる。 ・加速の生活行為と住まいの空間のかかわりがわかる。 ・室内の空気が汚れる原因を知り、健康に配慮した住まい方を考え工夫することができる。 ・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。 ・災害への備えの必要性が分かり、住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・地域とつながる視点から、安全で快適な住まい方について考えることができる。 ・住まい方が地域に及ぼす影響が分かり、住まい方を工夫できる。 ・自分の理想の間取りを考えることができる。	ノート、プリント 授業観察 定期考査・実技テスト 作品					
			D 身近な消費生活と環境	・家庭生活と消費 2時間 ・商品の選択と購入 3時間 ・よりよい消費生活のために 5時間 35時間	○	○	○			・物資とサービスを利用して生活していることを理解する。 ・消費生活がどのように成り立っているかが分かる。 ・商品を購入したり、利用したりするときの生活情報の収集や活用の仕方を理解する。 ・店舗販売と無店舗販売をそれぞれの特徴を理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴が分かる。 ・契約について理解し、消費生活におけるトラブルについて理解する。 ・消費者を支える法律、制度、機関の必要性が理解できる。 ・基本的な消費者の権利と責任について理解する。	ノート、プリント 授業観察 定期考査・実技テスト 作品		
			3 学期	1 ・ 2 ・ 3									